

栗中だより

全国学力・学習状況調査
結果分析 2023.9 発行



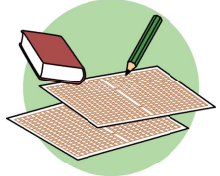
4月18日(火)に行われた「令和5年度全国学力・学習状況調査」の本校の結果についてお知らせいたします。調査のねらいを踏まえ、子どもたち一人ひとりが「分かる喜び」や「学ぶ楽しさ」を感じることでできる授業となるよう、今後も改善に努めてまいります。ご家庭でも、ご支援、ご協力をお願いいたします。

〈分析結果の表記について〉
・「さらに伸ばしたい部分」：本校の強みの部分をさらに伸ばすための取組
・「課題として取り組む部分」：本校の弱みの部分についての改善策

教科に関する結果から

『国語』について

さらに伸ばしたい部分	課題として取り組む部分
<p>○漢字の書き取りや、古文の現代語訳に関する問題の正答率が県平均を上回っており、日頃の基礎的な学習が定着しているといえます。</p> <p>→ 間違えやすい同音異義語や同訓異字などについて、日頃の学習の中で取り上げていきます。また、古文の学習では、教科書掲載の文章の他にも、様々な古文に触れる機会を設け、一層古文への親しみを深めていきます。</p> <p>○文章の内容をふまえて、自分の考えを記述する問題の正答率が県平均を上回っています。「記述式」の問題に対して、自分の考えを書こうという意欲が高い傾向にあります。</p> <p>→ 複数の条件をふまえて、自分の考えを書いたり話したりする学習を定期的に行います。相手に伝わりやすいような論理的な構成や言葉の使い方の意識を高め、表現力の向上を図ります。</p>	<p>△二つの文章を比較し、表現の効果について考える問題に課題が見られます。</p> <p>→ 日頃の学習の中で、表現の特徴や効果について考える場面を増やすとともに、観点をしぼって複数の文章を比較する活動を取り入れていきます。</p> <p>△内容のまとまりで文章を分ける問題の正答率が県平均を下回っています。具体と抽象など、情報と情報との関係について理解しながら読むことが課題であるといえます。(右の問題参照)</p> <p>→ 説明的文章を読む学習で、書かれている内容や接続する語句などに注目して、文章をいくつかのまとまりに分けたり、小見出しをつけたりする活動を重点的にを行い、文章の構成を理解する力を高めていきます。</p>



【課題として取り組む部分】の問題例 国語

解答
ウ
・(例)「判じ絵」の歴史

三 山田さんは、「判じ絵」とは何か?と見出しを付けた文章を内容のまとまりごとに分け、後半のまとまりには分けた内容と合う見出しを付けることにしました。分ける際、(ア)と(イ)とを最も適切なものを、(ウ)から(オ)までの中から一つ選びました。また、後半のまとまりに付ける見出しを考えて下さい。

【判じ絵】について

山田 虎一

- はじめに
学校図書館のまで、「判じ絵」というものがあることを知った。「判じ絵」には具体的にどのようなものがあるのか、また、「判じ絵」がいつ生まれ、どのように現代に伝わったのかに興味をもち、詳しく調べることとした。
- 調査方法
学校図書館、地域の図書館、インターネットで情報を集めた。
- 調査結果
 - 「判じ絵」とは何か
「判じ絵」とは、描かれている絵や記号などが何を意味しているかを解読して楽しむものである。(ア)ただし、【図1】のように、描かれているもの【図1】ザムと意味しているものが異なるため、解読する際には、「判じる」こと、つまり、知っていることをもとに「話し合って考える」ことが必要になる。(イ)書ってみれば、なぞなぞやクイズのようなものである。(ウ)また、「判じ絵」の起源を調べたところ、平安時代後期から行われていた「ことば遊び」だと考えられていることが分かった。(エ)そして、江戸時代に庶民の間で広まる中で様々なものが生まれ、浮世絵ともつながりの深い文化として定着していったという。(オ)さらに明治に時代が移っても、人々の娯楽として親しまれ、現代でも雑誌の挿絵やテレビのクイズ番組などで見ることが出来る。
 - 「判じ絵」の解読の面白さ
「判じ絵」の解読の仕方について、具体的に例を挙げて説明する。
【図2】は、鈴の絵に目が描かれている。描かれているものを組み合わせて解読すると、あの「スズメ」という意味になる。

【図2】スズメ

【図3】は、

3 山田さんは、国語の時間に、「言葉に関して興味をもったこと」をレポートにまとめています。次頁、山田さんが書いているレポートの「下書きの1部」です。これを読んで、あとの問いに答えて下さい。

『英語』について

さらに伸ばしたい部分	課題として取り組む部分
<p>○放送問題において、ある状況を描写する英語を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する問題や、社会的な問題について、短い説明の要点を捉えることができるかどうかをみる問題の正答率が高かったです。</p> <p>➡生徒同士での英語のやりとりや、ALTとのパフォーマンステストなどを通して、コミュニケーションをとりながら必要な情報を理解する場をさらに多く設定することで、生徒のリスニング力を高めていきます。</p> <p>○英作文問題では、英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えと理由を書く問題の正答率が県平均を上回っています。今年度から単元テストを行っており、新しく学んだ表現を用いて自分の考えをまとめて書く力が養われています。</p> <p>➡ALTによる英作文の添削や、時事的な話題を提供する教材の工夫などで、自分の考えを持ち、相手にわかりやすく伝える力を育てていきます。</p>	<p>△長文の読解問題において、特に文と文との関係を正確に読み取ったり、日常的话题について文章の概要を捉えたりする問題に課題が見られます。長文の内容を正確に読み取る力に課題があるといえます。(右の問題参照)</p> <p>➡「Let's read」(長文教材)を用いて、時間をかけて文章をしっかり読み切る習慣の定着を図ります。また、限られた時間で要旨をつかむ力も必要になるため、音読練習などを通して文章を読むことに慣れさせ、時間内に問題を解き切る練習も行っていきます。さらに、教科書の内容をリテリングしたり、英問英答で内容理解を図ったりするなど、授業の改善をさらに進めます。</p>



【課題として取り組む部分】の問題例 英語

7 次の英文は、しおりさんが英語の授業で「町の図書館」について書いたものです。これを読んで、以下の問いに答えなさい。

Libraries today are more creative than in the past. The library in our town is more creative, too. We can do a lot of things there. We not only read books and watch DVDs at the library, but also enjoy events like book talks, puppet shows, and workshops about making picture books.

There are many kinds of spaces, too. (), people can read books on sofas, on tatami mats or in the library cafeteria. They can relax and read books anywhere. They can use small rooms for studying, meeting, or working.

Our creative library can connect people. One of my friends likes making picture books now after he joined a workshop at the library. He sometimes asks the library staff questions about making picture books by email even now. Also, while some kids are reading together on the tatami mats, their parents can become friends with each other.


I hope all of you visit our creative library in the near future.

(注) creative: 創造的な
 not only ..., but also ...: ...だけでなく、...も
 puppet: 人形 workshop: ワークショップ
 connect: ~をつなぐ while: ~する間

(2) しおりさんが書いた英文の概要(文章全体の大きな内容)として最も適切なものを、下の1から4までの中から1つ選びなさい。

- 1 The library in the town is more creative than before. We can do a lot of things there. There are many kinds of spaces, too. The library can connect people.
- 2 There are many kinds of spaces in the library. People can relax and read books anywhere. The library can connect people. We can ask the library staff questions.
- 3 The library in the town is more creative than before. There are many kinds of spaces. In small rooms, people can study or work very hard. The library can connect people.
- 4 The library in the town can connect people. We can ask the library staff questions. Parents can become friends with each other while the kids are reading together.

『数学』について

さらに伸ばしたい部分	課題として取り組む部分
<p>○数と整式の乗法の計算ができています。</p> <p>→ 基本的な文字を用いた式の四則計算だけでなく、分数や小数、かっこを含む応用問題にも取り組みます。</p> <p>○結論が成り立つための前提を、問題解決の過程や結果を振り返って考え、成り立つ事柄を見だし、説明することができます。</p> <p>→ 数学的活動を通して、文字を用いた式を具体的な場面で活用し、思考力、判断力、表現力等を身に付けることができるよう指導を継続していきます。</p> <p>○四分位範囲の意味を十分に理解しています。</p> <p>→ データの分布について、四分位範囲や箱ひげ図の読み取りだけでなく、数学的活動を通して、四分位範囲や箱ひげ図の必要性を味わうことができるような授業展開を取り入れていきます。</p>	<p>△空間における直線や平面の位置関係を捉える問題に課題が見られます。 (右の問題参照)</p> <p>→ 空間図形は、点、線、面で構成されているため、これらの位置関係を調べていく際に、床や壁、柱など身のまわりと関連させた活動に取り組んでいきます。</p> <p>△与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取る問題に課題が見られます。</p> <p>△事象を理想化・単純化することで表された直線のグラフを、事象に即して解釈する問題に課題が見られます。</p> <p>→ 一次関数について、表、式、グラフを学習した後に、一次関数として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現する活動を多く取り入れていきます。</p> 



【課題として取り組む部分】の問題例 数学

3 空間における平面が1つに決まる場合について正しく述べたものを、下のアからエまでのの中から1つ選びなさい。

- ア 1点をふくむ平面は1つに決まる。
- イ 2点をふくむ平面は1つに決まる。
- ウ 1つの直線上にある3点をふくむ平面は1つに決まる。
- エ 1つの直線上にない3点をふくむ平面は1つに決まる。

解答 工

生徒質問紙の結果から

さらに伸ばしたい部分	課題として取り組む部分																								
<p>○道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか</p> <table border="1"> <caption>道徳の授業での活動参加率</caption> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>当てはまる (%)</th> <th>どちらかといえば当てはまる (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本校</td> <td>55</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>県</td> <td>48</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td>全国</td> <td>45</td> <td>55</td> </tr> </tbody> </table>  <p>○仲間と交流しながら道徳の授業に意欲的に取り組んでいる生徒の割合が高いです。</p> <p>→ 教科として位置づけられ、道徳の授業で心や態度を育てていくことは、ますます重要となります。多様な考えに触れ合う授業、心が揺さぶられる授業を子どもたちとともにつくり、周りの人とよりよく生きる大人への成長をこれからも目指します。</p>	対象	当てはまる (%)	どちらかといえば当てはまる (%)	本校	55	45	県	48	52	全国	45	55	<p>○読書は好きですか</p> <table border="1"> <caption>読書好きの割合</caption> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>当てはまる (%)</th> <th>どちらかといえば当てはまる (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本校</td> <td>30</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>県</td> <td>35</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>全国</td> <td>35</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table>  <p>△読書に興味を持ち、日頃から読書をしている生徒の割合が低い傾向です。</p> <p>→ スマホが普及し、本よりもスマホに費やす時間が多い傾向が、今年度も見られます。学校では、図書館の利用を促進し、本を読む楽しさを子どもたちに感じさせるとともに、国語科の授業で行うビブリオバトルや図書委員会の活動などを工夫し、読書活動アップにつなげていきます。</p>	対象	当てはまる (%)	どちらかといえば当てはまる (%)	本校	30	30	県	35	30	全国	35	30
対象	当てはまる (%)	どちらかといえば当てはまる (%)																							
本校	55	45																							
県	48	52																							
全国	45	55																							
対象	当てはまる (%)	どちらかといえば当てはまる (%)																							
本校	30	30																							
県	35	30																							
全国	35	30																							

地域の皆様に支えていただき、粟中生はがんばることができています。今後も学校と家庭・地域がよりよい信頼関係の中で教育活動を進められるよう、ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。